

平成23年度宇都宮市学習と生活についてのアンケート（宇都宮市立清原北小学校1年）

■分析と今後の指導上の工夫

- ・ 「勉強が好きですか」の質問に8割程度の児童が好きと答えており、教科ごとの質問にもすべての教科において市の平均を上回っている。また、8割以上の児童が土曜日、日曜日にも30分以上～1時間30分くらい家庭学習に取り組んでいる。チャイムでの着席、進んでノートをとることについては100%の児童が「はい」と答えており、学習の用具の準備などにも自分できちんと取り組んでいることから、高い学習意欲をもっていることが伺える。しかし、「普段から、不思議だと思ふことがある」の肯定割合は他の質問事項に比べて低い傾向にあるので、疑問や、興味や関心をもったことについて、広げたり、深めたりできるように授業の形態や方法を工夫・改善したり、学校生活の中で疑問を持たせたり普段から周りのことに関心を持たせたりしていきたい。
- ・ あいさつについては、学校や家、地域でもあいさつをしていると答えた児童が多く、好ましい傾向にある。今後は、大きな声で気持ちを込めてあいさつをしたり、自分から進んで相手にあいさつをしたりできるように指導を継続していきたい。「学校での生活に満足しているか」という質問に対しては、全員が「はい」と答えており、充実した学校生活を送っている様子が伺える。あいさつや学校でのきまり・約束についても高い割合で肯定しており、明るく落ち着いた生活を送っているといえる。
- ・ 読書に関する質問では、平日、土日にかかわらず、毎日20分以上読んでいる児童の割合多く、習慣化していることが伺われる。本を借りる時間を確保し、定期的に読み聞かせを行ってきた成果だと考えられる。今後も、時間をとって読書指導を続けていきたい。
- ・ 「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンゲームをしていますか。」という質問に対しては、持っていない児童が3割ほどおり、平日はどの児童も1時間以内となっている。「1日にどれくらいテレビ、ビデオ、DVDを見ていますか」と「1日にどれくらいテレビゲームやパソコンをしていますか」という質問に対しても、平日、休日ともにほとんどの児童が1時間以内であるが、なかには休日になると3時間以上と答えている児童がいる。家庭に視力や姿勢などの健康面を考えて呼びかけていきたい。
- ・ 学校がある日の就寝時刻については、8割程度の児童が午後9時頃までに寝ている。午後9時過ぎに寝ている児童もいるが、車通学のため起きる時刻が午前7時ごろの児童が3割ほどいるので、睡眠時間は足りていると思われる。しかし、「朝、自分で起きること」「地域行事への参加」（特認校なので地域と交流できないことも考えられる）については、他項目に比べ肯定割合が低い。今後も指導・支援していく必要がある。
- ・ 朝食はほぼ全員がとり、また好き嫌いなく食べている児童の割合も高く、好ましい傾向にあるといえる。「運動は好きか」や「歯磨きをしているか」、「健康や体力に自信があるか」の質問に対しても高い割合で肯定しており、健康・体力への意識が高い様子が伺える。「休み時間や放課後、休日などに、自分から進んで運動をするようにしていますか。」という質問についても、肯定割合が高い。今後さらに、体や運動と日常生活の関係に関して興味や意識をもたせるために、養護教諭や栄養士などの教員と連携し児童へ働きかけをしていきたい。

